

のとがわ コミセンだより

令和8年度 第2号
発行月：令和8年8月
発行：能登川コミュニティセンター
【電話】42-3200
【FAX】42-3222
【IP】050-5801-3200

受講生募集 地元の健康推進員さんに学ぶ料理教室

毎日の食事で生活習慣病予防 ～健康寿命を延ばすための減塩&バランス食～

素材の旨みや薬味を上手に使い、我慢しない減塩のコツと、体に必要な栄養がしっかり摂れる簡単バランス食（主食・主菜・副菜）の組み合わせ方を楽しく学びましょう。

メニュー

※食材の仕入れや状況により、メニューの一部が変更になる場合があります。

1回目 9月1日(火)

- 野菜たっぷり豚汁
- さばのさっぱりバーグ
- 切り干し大根のサラダ

2回目 9月8日(火)

- チンジャオロース
- にんじんのごま酢和え
- きこのナムル
- 牛乳寒天

3回目 9月15日(火)

- 美松寿司（びしょうずし）
- 赤こんにゃくの牛肉巻き
- 丁字麩のからし和え
- 丁字麩ピザ
- 坊ちゃんかぼちゃだんご

1～2回目で「減塩のコツ」や「バランス食の基本」を学びます。
最終回は、滋賀で古くから親しまれてきた伝統料理を作ります。

全3回 10:00～13:30
調理後に試食をします。

- 会場：能登川コミュニティセンター 調理室（2階）
- 対象：東近江市内在住・在勤の方（能登川地区の方優先）
- 受講料：500円（資料代込）・別途材料代 2,000円（3回分）
- 申込み：8月3日(月) 9:00～

- 講師：東近江市健康推進員協議会 能登川支部
- 定員：24名
- 持ち物：エプロン・三角巾・ふきん・マスク

能登川コミュニティセンター窓口にて、受講料を添えてお申し込みいただくか、Webでお申し込みください。（電話不可）

お申し込みはこちら→



先着順で定員になり次第終了いたします。状況により、講座を延期・中止する場合があります。

能登川ふれあいフェスタ 2026 能登川ふれあいスポーツフェスタ 2026

開催日 10月25日(日)

会場 能登川コミュニティセンター 駐車場

例年、ふれあい運動公園にて開催していましたが、今年度から会場を変更します。

内容 ハロウィン仮装大会
らくがき広場等
ワクワクするイベントを計画中。

問合せ：能登川コミュニティセンター
Tel0748-42-3200



出展(店)・出演者募集

第68回 能登川地区文化祭

- 会場：能登川コミュニティセンター
- 主催：能登川地区文化祭実行委員会
能登川コミュニティセンター

- 菊花展の部 ●開催日：11月2日(月)～8日(日)
- 模擬店の部 ●開催日：11月7日(土)～8日(日)
- 作品展示の部 ●開催日：11月7日(土)～8日(日)
- 芸能発表の部 ●開催日：11月8日(日) 12:00頃から

- 申込み：8月3日(月)～21日(金)
9:00～17:00（土・祝日可 ※電話不可）
能登川コミュニティセンター
窓口にてお申込みください。

詳細はこちら→



講演会 介護・看取り・終活をめぐって -4人のプロに訊く-

新著「この家で死にたいと母は言った 親を自宅で看取るということ」を執筆した澤田康彦さんが、現場を支える専門職の皆さんと「大切な人をどう送るか」「しあわせな最期とは？」を語り合います。

- 日時：9月6日(日) 13:30～（開場 12:30）
- 会場：能登川コミュニティセンター ホール
- 参加費：無料、事前申し込み不要
- 主催：（一社）能登川地区まちづくり協議会

ホスト／聞き手：著者：澤田康彦（『暮らしの手帖』元編集長・能登川地区出身）

登壇者／訪問看護師：小森富美江、緩和ケア科医師：奥野貴史、福祉用具専門相談員：白木正志、歯科医：柳沢治之（敬称略）



ホップ♪ステップ♪のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

6/7(日)

魚のゆりかご水田生き物観察会

～ 田んぼの水路で生き物をさがそう ～

- 場所：栗見出在家町水路
- 参加者：約200名
- 主催：栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会



観察会



勉強会



6/23(火)

第6回 能楽を楽しむ 能装束着付実演と能「葵上」

- 会場：能登川コミュニティセンター
- 来場者：550名
- 主催：滋賀能楽文化を育てる会
- 協賛：（一社）能登川地区まちづくり協議会
- 協力：ファブリカ村



今回は、源氏物語をもとにした人気演目「葵上」が上演されました。

招待を受けた能登川中学校2年生(約230名)をはじめ、多くの来場者が日本の伝統文化や古典の世界に親しみました。

また、背景には東近江の麻布が使用され、地場産業と伝統文化が融合した舞台となりました。

6/29(月)

令和8年度 まちづくり研修会

テーマ「変わるヒント! ～自治会アップデート術～」

- 会場：能登川コミュニティセンター
- 参加者：72名
- 講師：水津陽子氏（合同会社フォーティ R&C 代表
地域活性化・まちづくりコンサルタント）
- 主催：能登川地区自治会連合会
（一社）能登川地区まちづくり協議会

TV番組や新聞・雑誌等で活躍されている水津陽子氏を講師に講演会を開催しました。

グループワークでは、自治会同士の情報や意見交換が活発に行われ、交流が深まるひとときとなりました。



NO. 116

発行日：令和8年8月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部
〒521-1205 東近江市林光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内
電話 050-5802-2793（平日のみ） FAX：0748-42-1556
E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp http://notomatikyo.com/

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

令和 8 年度 定 時 総 会



【令和 7 年度 事業報告（抜粋）】

<まちづくり部門>

○「夏休み能登川こどもの居場所づくり」事業実施（参加児童30名、日数19日間）

○11月に 8 回目の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」公演で地区の 4 小学校 6 年 212 名を招待。生の音楽に触れる機会を創出。3 月には、未就学児や妊婦さんを対象にした「0 歳児からのピアノコンサート」を継続して開催しました。

○師走恒例の林中央公園での「第 22 回 2025 Lighting Bell in NOTOGAWA」に共催しました。

○地域団体主催の様々なイベントへの後援・支援の他、びわ湖東近江 SEA TO SUMMIT 2025 ではおもてなし、国スポ・障スポ大会ではふるまい協力を実施しました。

○防災関係では、「南海トラフ地震に備えよう」を主テーマに、自治会向けに「防災ヒアリング」・「防災力チェックシート」・「行動計画書」の作成支援や「防災出前講座」。「能登川地区防災研修会」を 4 回開催。7 月には、初めて各団体の協力のもと「のとがわ防災フェスタ」を開催し、起震車による体験等で来場者に啓発しました。また、「市内14まち協防災WEBカフェ」では、全域の情報共有や意見交換を行っております。

○環境活動では駅前を花で飾る、能登川中学校・能登川南小学校の「フラ輪プロジェクト」を支援しました。また、「栗見プロジェクト」としては、栗見新田町及び栗見出在家町自治会と共に琵琶湖岸の美化と環境保全を行いました。その他、廃食油の回収や、家庭での生ごみ削減を促進する段ボールコンポストの普及に取り組みました。

○子育て・子ども食堂への支援、高齢者の居場所づくり「おしゃべりカフェすまいる」、「婚活事業」、「能登川病院をよくする会」等の健康福祉事業も継続して取り組みます。

○猪子山古墳群や里山整備の「猪子山森林再生プロジェクト」を継続実施しました。また「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」の活動に協力しました。

○施設運営面では指定管理施設の有効利用の観点から、各種大会や公演開催の実施及び支援を行いました。

<指定管理部門>

○能登川コミュニティセンターでの生涯学習（文化・スポーツ）、人権・青少年事業の他、地域の多様な事業及び、各市民活動団体の事務局機能に加え、地域福祉事業にも参画しました。また、やわらぎホール・やわらぎの郷公園の管理運営を行いました。

【令和 7 年度 決 算】

単位：千円			
項 目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	7,022	6,649	373
指定管理部門	77,481	77,751	△270
計	84,503	84,400	103

5 月 24 日(日)、令和 8 年度 定時総会（能登川コミュニティセンター）を開催しました。出席者は来賓・会員（個人・団体・自治会）の計 169 名（うち委任状 94 名）令和 7 年度事業報告、決算報告・監査報告、令和 8 年度事業計画(案)・予算(案)、役員の選任(案) の各議案は全て承認されました。主な内容は次の通りです。

【令和 8 年度 事業計画】

自治会、市民活動団体、行政と連携し、「安全・安心、健康・医療・福祉の充実、子育てしやすく・子どもが明るく育ち、人が生き生きと動き交流する、歴史・文化を守り創造する、自然環境を守り育てる」それが日常となるような活動を進めます。今年度は創立 20 周年に当たるため記念イベントを開催します。

【令和 8 年度 予算】

単位：千円			
項 目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	7,002	8,142	△1,140
指定管理部門	77,225	77,805	△580
計	84,227	85,947	△1,720

*創立 20 周年記念事業実施と諸経費高騰を見越した予算計画で、繰越剰余金を充当します。



【役員の選任】

役員の選任を行い、総会後の理事会で下記のように決定しました。

理事 (21 名)	藤居正博（会長）・*宮居 伝・辻 英幸・飯田香織（以上副会長） 北崎富三（会計）（東近江市能登川地区老人クラブ連合会会長）、 *大橋弘明、*藤村 明、*堀いく子、*辻 武士、*徳岡英司、*福川勇造 宮川 薫（能登川地区文化協会会長）、若林陽子（能登川赤十字奉仕団委員長） 里田起明（能登川地区スポーツ協会理事長）、川南義博（のとがわ福祉の会会長） 村林又藏・三輪幸太郎・居原田善嗣・山本光代（以上まち協） 櫛田善春（やわらぎの郷公園長）・上林 昭（能登川コミュニティセンター・やわらぎホール館長） (注)*は、能登川地区自治会連合会役員（7 名）
監事 (2 名)	山本清治（元能登川地区自治会連合会会長） 奥居 剛（東近江市能登川支所長）

就任のごあいさつ

（一社）能登川地区まちづくり協議会 副会長 飯 田 香 織

暑さ厳しき折 皆さまいかがお過ごしでしょうか？
日頃より地域活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
このたび、副会長という大役をお引き受けすることになりました。
まだまだ若輩者ではありますが、地域のために少しでもお役に立ちたいという
思いで、この責務を務めさせていただく決意です。
私は能登川に住んで 24 年になります。仕事や子育て、サークル活動や教室の
運営などを通して、多くの方々との出会いに恵まれ、地域の温かさに何度も支え
られてきました。
また、元新聞記者というご縁から当協議会の広報を 3 年、文化協会の編集委員
を 5 年務めるなか、日々活動される皆さんの思いや努力に触れ、このまちにはた
くさんの魅力と可能性があることを改めて感じています。
これからも「能登川に住んでよかった」と感じていただける方が、1 人でも増
えるよう、皆さまと力を合わせながら取り組んでまいります。

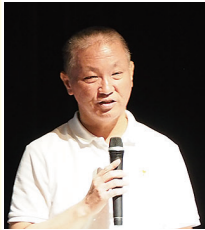
地域活動へのお誘い

あなたの「好きなこと」や「得意なこと」を、地域のために生かしてみませんか？
人に喜んでもらえることは、まちの元気につながります。そして、その活動は
自分自身の楽しみや生きがいにもつながっていきます。
私たちは「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える能登川を目
指して活動しています。
できるときに、できることを、できる範囲で。
笑顔あふれるまちにするため、あなたの力を貸してください。皆さんのご参加
を心よりお待ちしております。



5/30 合同研修会

- 会 場：能登川コミュニティセンター
- 参加者：約 300 名
- 共 催：東近江市青少年育成市民会議 能登川支部
能登川地区人権のまちづくり協議会
東近江市 PTA 連絡協議会 能登川支部
能登川地区学区地域教育協議会



NPO 法人こどもソーシャルワークセンター理事長の幸重忠孝氏を招き「生きづらさを抱えるこども若者を地域でささえる」をテーマに講演いただきました。直面されている支援現場のリアルで困難な現状も知ることが出来ました。また、特別ゲストとしてセンターで育った青年にも出演いただき、少年時代の心情的や経験談等を聞くこともできました。第 2 部の能登川中学校吹奏楽部のステージでは、2・3 年生による息の合った演奏と、1 年生の可愛いダンスが披露されました。



6/15 花で繋がる地域の輪
能登川中学校生徒会美化活動
フラ輪プロジェクト

- 場 所：JR 能登川駅前西口
- 協 力：（一社）能登川地区まちづくり協議会 環境事業部
地元有志・東近江市能登川支所



能登川中学生 23 名と教員 3 名で花の苗植えをしました。

6/21 トップアスリートに学ぶ
子どもスポーツ教室
～ バスケットボール編 ～

- 会 場：タナベエナジー能登川アリーナ
- 参加児童数：49 名
- 講 師：滋賀レイクス 坂井レオ選手
- 主 催：能登川地区スポーツ協会（事務局：コミセン）



B1 リーグ参戦中の滋賀レイクス坂井レオ選手を講師に迎え、バスケットボールに役立つ体の動かし方からミニゲームまで、アリーナを思いっきり駆け回りました。

Live119 って何！？ ※火災時も使用

『Live119 映像通報システム』の本運用を開始します



『Live119 映像通報システム』とは……

通常の 119 番通報に映像を加えることで、より正確な情報をリアルタイムに伝えることができる新しいサービスです。通報者が撮影する災害現場の映像を指令員がリアルタイムで確認し、指令員から応急手当を実施していただくための映像を送信するなど、迅速な現場活動に役立ちます。

119 番通報の際、指令員が必要と判断したときに、Live119 を利用した映像伝送のご協力をお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

スマートフォンの操作方法

1 指令員から通報者の電話番号宛てにショートメッセージ(SMS)を送ります。

2 メッセージを受け取りましたら、記載されている URL へアクセスしてください。

3 ウェブブラウザから Live119 が起動します。

4 ビデオ撮影について協力いただける場合は同意するをタップしてください。

5 マイク・カメラ・位置情報の確認はそれぞれ「許可する」をタップします。

6 電話音声をそれぞれスピーカーフォンに切り替えスマートフォンを横向きにします。中央のアイコンをタップして撮影を開始します。

7 スマートフォンで撮影している映像が消防に伝送、現場の状況を映像で確認します。

利用についてお願い

119 番通報の際、指令員が必要と判断したときに Live119 を利用した映像伝送を依頼することがあります。Live119 の利用には通報者の安全が確保されていることが前提となります。安全な環境が確認できれば、指令員から操作方法について説明します。なお、映像送信にかかる通信料金が通報者側にかかりますので、ご理解とご協力をお願いします。(通信料金は、ご契約の通信会社やご契約のプランにより異なります。)

9 月 9 日(水)は救急の日

9 月 6 日(日)～9 月 12 日(土)は救急医療週間